

平均変化率

関数 $y = f(x)$ において、 x の値が a から b まで変わると、 y の値は $f(b) - f(a)$ だけ変化する。このとき、 x の値の変化に対する y の値の変化の割合

$$\frac{f(b) - f(a)}{b - a}$$

を、 x の値が a から b まで変化したときの $f(x)$ の平均変化率という

1 $f(x) = x^3 - 3x + 1$ のとする。

a) x が 1 から 3 まで変化するときの $f(x)$ の変化量を求めよ。

b) x が 1 から 3 まで変化するときの $f(x)$ の平均変化率を求めよ。

極限

一般に、関数 $f(x)$ において、 x が a と異なる値をとりながら a に限りなく近づくとき、 $f(x)$ の値が b に限りなく近づくことを、

$$\lim_{x \rightarrow a} f(x) = b \quad \text{または} \quad f(x) \rightarrow b \quad (x \rightarrow a)$$

と書き、 b を、 x が a に近づくときの $f(x)$ の極限値という。

2 次の分数式を約分して、既約な分数式になおせ。

a) $\frac{x^2 + 5x + 6}{x^2 - 2x - 8} =$

b) $\frac{x^3 + x^2 - 6x}{x^3 - 9x} =$

c) $\frac{x^3 - a^3}{x - a} =$

d) $\frac{x^3 - a^3}{x^2 - a^2} =$

入学年度	学部	学科	組	番号	検	フリガナ	
	B	1					氏名

3 次の分数式をなるべく簡単にせよ。

$$\frac{\frac{1}{a+h} - \frac{1}{a}}{h} =$$

4 次の極限を求めよ。

a) $\lim_{x \rightarrow 2} (x^2 - x + 2)(3x - 1) =$

b) $\lim_{x \rightarrow 1} \frac{x^2 - 1}{x + 1} =$

c) $\lim_{x \rightarrow -2} \frac{x^2 + 5x + 6}{x^2 - 2x - 8} =$

d) $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{x^3 + x^2 - 6x}{x^3 - 9x} =$

e) $\lim_{x \rightarrow a} \frac{x^3 - a^3}{x - a} =$

f) $\lim_{x \rightarrow a} \frac{x^3 - a^3}{x^2 - a^2} =$

g) $\lim_{h \rightarrow 0} \frac{(a+h)^3 - a^3}{h} =$

h) $\lim_{h \rightarrow 0} \frac{\frac{1}{a+h} - \frac{1}{a}}{h} =$

5 関数 $f(x) = \frac{x^3}{|x|}$ について以下の問いに答えよ.

a) 関数 $f(x)$ の定義域を示せ.

b) 関数 $f(x)$ を、絶対値記号を用いない、場合分けによる形で表せ.

微分係数

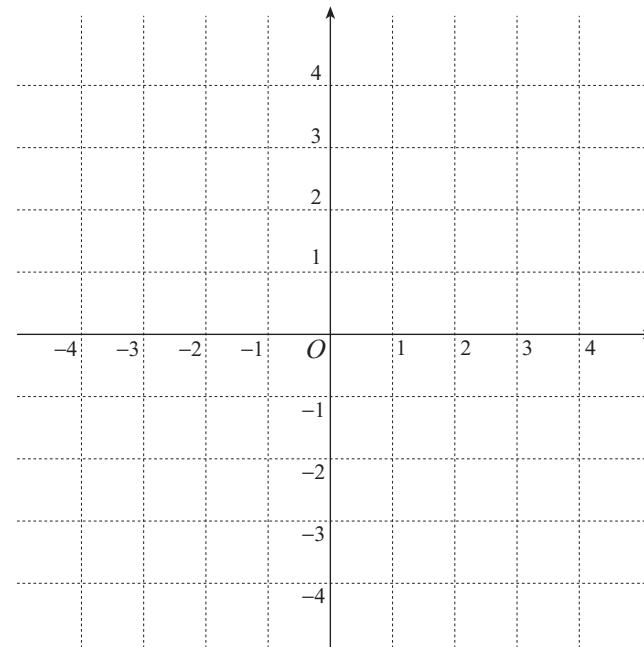
x の値が a から $a + h$ まで変わるとときの関数 $f(x)$ の平均変化率

$$\frac{f(a+h) - f(a)}{(a+h) - a} = \frac{f(a+h) - f(a)}{h}$$

において、 h を 0 に限りなく近づけるとき、平均変化率がある決まった値に限りなく近づくならば、その極限値を、関数 $f(x)$ の $x = a$ における微分係数または瞬間変化率といい、 $f'(a)$ で表す.

6 $f(x) = x^3 - 3x + 1$ のとする。 $x = 2$ における $f(x)$ の瞬間変化率（= 微分係数） $f'(2)$ を定義にしたがって求めよ.

c) $y = f(x)$ のグラフを描け.



d) グラフから $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{x^3}{|x|}$ を求めよ.

7 関数 $f(x) = (2x - 3)^2$ について、以下の問いに答えよ.

a) x が a から $a + h$ まで変化したときの平均変化率を求め、できるだけ簡単にせよ.

b) $f(x)$ の $x = a$ における微分係数 $f'(a)$ を極限を用いた定義を直接用いて求めよ.